

平成 23 年第 3 回川崎市議会定例会

請願陳情文書表

(その 2)

## 請　願　文　書　表

受理番号	受理年月日	件　　名	請願提出者	紹介議員	要　　　旨	付託委員会
16	23. 6. 24	川崎市平和館の展示などについての請願	中原区在住者 ほか 1名	斎藤 隆司	核軍縮と核廃絶が世界の課題として浮上している今日、またかつての戦争に関する新たな資料が発掘されてきている現在、「川崎市平和館」の展示・研究などがそれに応じきれているかどうか、議会の担当委員会として、または各会派の議員で、平和館運営委員会と共同で調査・考察してください。	市民委員会

受理番号	受理年月日	件 名	請願提出者	紹介議員	要旨	付託委員会
17	23. 6. 30	川崎区に冒険遊び場・子ども夢パークを作ることに関する請願	川崎区 川崎区地域教育会議	山崎直史 浜田昌利 飯塚正良 佐野仁昭 松川正二郎 猪股美恵	<p>川崎区には大人の遊び場やゲームセンターはたくさんありますが、自然環境も乏しく、思い切り野外遊びのできるところは多くありません。</p> <p>富士見公園一帯の周辺整備計画では、労働会館側には大きな緑地帯が構想されています。南東部には市民広場、子ども広場が現存するまで図示されています。</p> <p>ぜひ川崎区にも冒険遊び場、子ども夢パークを作ってください。</p> <p>1 富士見公園内での冒険遊び場エリアを設置してください。</p> <p>2 活動拠点としての小さな家を建ててください。</p> <p>3 子どもの遊びを見守る有償のプレイリーダーの配置をお願いします。</p> <p>4 建設、運営について市民、子どもたちの意見を聴く機会を設けてください。</p>	総務委員会

受理番号	受理年月日	件 名	請願提出者	紹介議員	要 旨	付託委員会
18	23. 6. 30	成人ぜん息患者の医療費無料化等を求める請願	川崎区 川崎公害病患者と家族の会 ほか 169団体	菅原 進 飯塚 正良 市古 映美 猪股 美恵	<p>平成23年（2011年）1月26日の健康福祉委員会で、「成人ぜん息患者の医療費1割負担をなくし安心して治療が受けられる制度にすることに関する請願」を審査し、継続審査となりました。</p> <p>市は、平成19年（2007年）より「成人ぜん息患者医療費助成制度」を実施しましたが、請願の審査を通じて、「ぜん息患者が全市的に急増していることなどの実態が明らかになりました。</p> <p>平成23年（2011年）5月24日、環境省の「そらプロジェクト」の調査結果によって自動車排出ガスとぜん息などの因果関係が科学的に証明されました。</p> <p>以上の経過を踏まえ、下記のとおり請願いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「成人ぜん息患者医療費助成条例」の患者1割負担をなくすこと。</li> <li>助成対象疾病に慢性気管支炎、肺気腫を加えること。</li> <li>助成の対象に在宅酸素、画像診断など、ぜん息治療に必要な治療や検査を加えること。</li> <li>居住要件を3年から1年とすること。</li> </ol>	健康福祉委員会

受理番号	受理年月日	件 名	請願提出者	紹介議員	要旨	付託委員会
19	23. 7. 1	宮内の多摩川河川敷を市民利用として残すとともに簡易水洗トイレのすみやかな設置に関する請願	中原区在住者 ほか 320名	原 典 之 吉 岡 俊 祐 大 庭 裕 子 松 川 正二郎 猪 股 美 恵 三 宅 隆 介	<p>私たち、宮内の多摩川河川敷を利用する者です。</p> <p>宮内の多摩川河川敷には、地元市民が使う宮内グラウンドがあります。また、自然環境が豊かな市民憩いの場所です。区内ではここを拠点に野球チーム・少年野球が盛んで、ますます宮内の多摩川河川敷利用の意義が大きくなっています。特にスポーツなど市民利用に供する場所の拡大確保が求められています。児童たちの健全育成を考えるなら、宮内の河川敷をこうした市民利用の聖地として守ることが求められています。</p> <p>つきましては、この宮内の多摩川河川敷を野球やサッカー、グランドゴルフやゲートボールなど、市民が憩いここを聖地として、孫子の代まで残していただきたいと存じます。どんどん焼きをはじめ町会での行事や学校利用も実施して利用者が増えていますので、簡易水洗トイレの設置をしていただくことをお願いし、請願するものです。</p>	まちづくり委員会

受付番号	受付年月日	件 名	請願提出者	紹介議員	要 旨	付託委員会
20	23. 7. 1	都市に残された日本女子大学周りの緑を小分け開発から守る事に関する請願	多摩区女子大周りの緑を守り育てる会 ほか 3名	山崎直史 河野ゆかり 露木明美 井口真美 松川正二郎 三宅隆介 猪股美恵	<p>多摩区の日本女子大とその周辺にある豊かな緑は、市と周辺土地所有者が緑地保全協定を結び、今日まで受け継がれてきたものです。</p> <p>この一角は、Aランクの樹林地である多摩区菅馬場5061（日本女子大正門西側）で、1,320m<sup>2</sup>の開発が、株式会社「成建」によって進められています。</p> <p>株式会社「成建」は、市に開発許可の事前協議で取り付け道路がないことを指摘され、開発許可が要らない469m<sup>2</sup>（500m<sup>2</sup>未満）の「宅地開発」に変更しました。</p> <p>このような都市計画法の精神を無視した公然たる「分割開発」によって、川崎に残された貴重な緑がこれ以上失われないように、次のことを行なうことを請願します。</p> <p>1 市は、都市に残された貴重な緑である多摩区菅馬場5061（日本女子大周り）の緑の保全のために力を尽くしてください。</p> <p>2 都市計画法と市「開発行為等の区域の設定基準」の精神と本来の目的に基づき、「小分け開発」が行われないようにしてください。</p>	まちづくり委員会

## 陳 情 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	陳情提出者	要 旨	付託委員会
23	23. 6. 27	川崎市で中学校給食の実施を求めることに関する陳情	高津区住者 ほか 2,732名	<p>平成21年（2009年）の調査（文部科学省）によると、全国の公立中学校の完全給食実施率は81.6%です。実施率が一番低いのは大阪府の7.7%、2番目が神奈川県で16.1%です。しかし、その大阪府でも次々と中学校給食が始まる変化が起きています。神奈川県でも相模原市で平成22年（2010年）4月から中学校給食が始まりました。</p> <p>市でも、利用率の低すぎるランチサービスという事業はやめ、小学校と同じように中学校の完全給食を実施してください。</p>	総務委員会